

児童支援事業所どんぐり 放課後等デイサービス 自己評価表集計結果 報告書

1、はじめに

今回のアンケート対象について、放課後デイをご利用中の保護者様12世帯と、従事している児童指導員及び保育士9名に対して、無記名回収にて実施しました。

保護者様や児童指導員から挙げられた不明点及びご意見につきまして、項目ごとにみていきます。

2、事業者向け 放課後等デイサービス自己評価 集計結果

(1)アンケートの回答より抜粋

項目②について、「食事作りなどで少ないときもある」、「職員の数が足りないこともある」という意見が寄せられました。

項目⑧について、コロナ禍で研修の機会が不十分という意見が複数寄せられました。

項目⑩について、支援終了後の勤務時間がバラバラなので、その時間はできなかつたりしているが、次の日の連絡会などで扱っている、という意見が複数寄せられました。

(2)検討結果

項目②について、昨年と比較すると男性職員が増えたこともあり、また人員配置としては適切な人数が配置されていますが、活動内容によっては体感的に「少ない」「足りない」と感じる場合があります。過ごし方を事前に検討します。

項目⑧について、感染症予防対策や、行動援護研修など、必要な研修の機会が確保されています。更に研修の機会は確保してまいります。

項目⑩について、必ず全員が情報共有を行えるよう、連絡ノートの活用や、連絡会での取り扱いをしていきます。

3、保護者向け 放課後デイサービス評価表 集計結果

(1)アンケートの回答より抜粋

項目⑥、児童クラブや児童館との交流について、コロナ禍で難しいと思う、特に望んでいない、要望があれば行ってもよいと思うが、コロナ収束まではなくてもかまわないというご意見がありました。

項目⑩、父母会等について、必要があればスタッフさんを介して情報交換できれば良い、希望していませんので現状で満足しています、コロナ禍で難しいと思いますといったご意見が寄せられました。

(2)検討結果

項目⑥について、現在放課後児童クラブや、児童館との交流は行っておりません。来年度も予定はありませんが、外出先の公園やイベントなどで、地域のお子さんと自然に交流できるように努めてまいります。

項目⑩について、現在保護者会や父母の会を設置しておりません。今後も設置の予定はありませんが、ご希望がありましたらお知らせください。

(1)調査期間 令和2年11月16日～11月30日

(2)調査対象 「児童支援事業所どんぐり(放課後デイサービス)」に従事する児童指導員及び保育士9名

(3)調査方法 従事者9名に調査票(事業者向け)を配布、無記名回収。

(4)回収状況 有効票(9票) 有効回収率(100%)

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえ ない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|------------------|---|---|-------|-------------------|-------|---|
| 環境・ 体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 77.7% | 22.2% | | 土曜日と祝日は部屋分けをしている。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | 66.6% | 33.3% | | 食事作りなどで少ない時もある。 職員が多く、フリーの職員がいるときもあれば、職員の数が足りない時もある。配置分けや仕事を割り振っている。 |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 66.6% | 33.3% | | 躓きやすい段差があるが、基本的に支援者がついているので声掛けや支援できる。 |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 100% | | | |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 100% | | | |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 100% | | | |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | 33.3% | 66.6% | |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 44.4% | 44.4% | 11.1% | 研修会には参加していないが、報告を受けています。 コロナ禍にあり例年通りとはいかず、不十分。 研修に行きづらい社会情勢となり必要最低限の研修に限っている。 |
| 適切な 支援の 提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 100% | | | |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 77.7% | 11.1% | 11.1% | |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 100% | | | |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 77.7% | 22.2% | | コロナ禍のこともあり、集団活動で活動プログラムを組んでいない。 |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 100% | | | |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 100% | | | コロナ禍のこともあり、集団活動で活動プログラムを組んでいない。 |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 100% | | | |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか | 66.6% | 22.2% | 11.1% | その日いるスタッフ皆での振り返りはできていない。気づいた点はいはるスタッフで共有できている。 |

| | | | | | | |
|------------------------------|-------|--|---|-------|-------|--|
| | | | | | | 支援終了後の勤務時間がバラバラなのでその時間はできな かったりしているが、次の日の連絡会などで扱っている。 |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 100% | | | 記録用紙を定期的に見直します。日々変わっているので。 |
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 88.8% | 11.1% | | |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか | 100% | | | |
| | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい 者が参画しているか | 100% | | | |
| | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡 調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡）を適切に行っているか | 44.4% | 22.2% | 11.1% | |
| 関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携 | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている か | 44.4% | 22.2% | 11.1% | 医療的ケアが必要な子がいない。 必要な子がいない。利用者がどの病院にかかっているかは 大体知ることができている。受け入れていない。受け入れなし。 |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定 こども園、児童発達支援事業所等との間で情 報共有と相互理解に努めているか | 77.7% | 22.2% | | |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から 障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する 等しているか | 100% | | | |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援セン ター等の専門機関と連携し、助言や研修を受 けているか | 55.5% | 33.3% | 11.1% | 研修などで話したりはしている。 |
| | ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会があるか | 11.1% | 11.1% | 77.7% | 公園で出会った子らと遊んだりすることがある。 |
| | ㉗ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加 しているか | 11.1% | 22.2% | 66.6% | |
| | ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子 どもの発達の状況や課題について共通理解を 持っているか | 100% | | | |
| | ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行 っているか | 100% | | | |
| | ㉚ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等につい て丁寧な説明を行っているか | 100% | | | |
| | ㉛ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 100% | | | |
| | 説明責任等 | ⑳ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を支援し ているか | | 44.4% | 55.5% |

| | | | | | | |
|---------|----|---|-------|-------|-------|-------------------------------------|
| | ③③ | 子どもや保護者からの 苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に 迅速かつ適切に周対応しているか | 88.8% | | 11.1% | |
| | ③④ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 77.7% | 22.2% | | どんぐり通信の発行。 |
| | ③⑤ | 個人情報に十分注意しているか | 100% | | | |
| | ③⑥ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 100% | | | |
| | ③⑦ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 11.1% | 11.1% | 77.7% | コロナ禍にあり、交流などの設定はできていない。 |
| 非常時等の対応 | ③⑧ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 88.8% | | 11.1% | 保護者まで周知されていない。 |
| | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 88.8% | 11.1% | | 年三回の避難訓練実施。 |
| | ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 77.7% | 22.2% | | |
| | ④⑪ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 77.7% | 22.2% | | 身体拘束を要する方がいない。 計画へは必要な場合のみ記載します。 |
| | ④⑫ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 100% | | | |
| | ④⑬ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 100% | | | |

保護者向け 放課後デイサービス評価表 集計結果

- (1)調査期間 令和2年11月16日～11月30日
(2)調査対象 児童支援事業所どんぐりをご利用中のご家庭12世帯
(3)調査方法 保護者へ調査票(保護者向け)を手渡し配布、無記名で封入されたものを回収。
(4)回収状況 有効票(12票) 有効回収率(100%) (項目によっては未回答有)

| | | | はい | どちらとも いえない | いいえ | ご意見 |
|------------------|---|--|-------|---------------|-----|--|
| 環境・ 体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 100% | | | |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 91.6% | 8.4% | | 手厚く支援していただいている。 |
| | ③ | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 83.3% | 16.7% | | |
| 適切な 支援の 提供 | ④ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか | 91.6% | 8.4% | | 子どもが進学した時に、新しい生活にスムーズに入って行けるように、そして困りごとが解決に向かうように考えていただきありがたかった。 |
| | ⑤ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 100% | | | PTで進められた、家では取り組みにくい運動も活動に取り入れていただいております。 |
| | ⑥ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 25% | 50% | 25% | コロナ禍で難しいと思います。 特に望んでいません。わからない。 |

| | | | | | | |
|----------|---|--|-------|-------|-------|---|
| | | | | | | 要望があれば行ってもよいと思うが、コロナ収束まではなくてもかまわない。 |
| 保護者への説明等 | ⑦ | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 91.6% | 8.4% | | 子の家庭の状況に応じたサービスを提供していただいている。 |
| | ⑧ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 91.6% | 8.4% | | とても助かっています。情報交換の中から、課題や手立てがわかってきたり、学校に伝えるべきことがはっきりしてきたりすることがあり、助かっている。 |
| | ⑨ | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 83.3% | 8.3% | 8.3% | 困り事があった時に、一緒に考えていただけて心強い。 |
| | ⑩ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 8.3% | 66.6% | 16.6% | 会があったらいいと思うことは無い。必要があればスタッフさんを介して情報交換できれば良い。希望していませんので現状で満足していません。コロナ禍で難しいと思います。しらない。 |
| | ⑪ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 58.3% | 41.6% | | 苦情があるとは思えないが、もしあったとしても適切に対応していただけたらと思っている。 |
| | ⑫ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 91.6% | 8.4% | | 子どもが横で聞いていて嫌な気持ちになる話は電話等で知らせていただいている。 |
| | ⑬ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 83.3% | 16.7% | | |
| | ⑭ | 個人情報に十分注意しているか | 91.6% | 8.4% | | |
| 非常時等の対応 | ⑮ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 91.6% | 8.4% | | マニュアルはあるが、コロナの影響で休校になったときに連絡を取り合いながら利用の有無を決められたのは良かった。 |
| | ⑯ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 100% | | | 回を重ねるごとにそれぞれの災害の避難方法が身につき、スムーズに避難できているようだ。 |
| 満足度 | ⑰ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 100% | | | とても楽しみにしています 生活の中で一番の楽しみ、励みになっている。 |
| | ⑱ | 事業所の支援に満足しているか | 91.6% | 8.4% | | とても満足しています 子どもをよく見て体や心の状態にあった支援をして下さりありがたい。 |

以上